| 本市の人口 | （昭和48年1月1日現在） |
|---|---|
| 人口総数 | 190，546人 |
| 男 | 92，976人 |
| 女 | 97，570人 |
| 世帯数 | 59，329世帯 |

# 甲府市議会だより

（編集・発行）甲府市議会だより編集委員会　電話(35)7054甲府市議会事務局
昭和48年2月1日　第16号

**12月定例会日程**

| | |
|---|---|
| 12月14日 | 開会（提案理由説明） |
| 12月15日～12月17日 | 休会 |
| 12月18日～12月20日 | 一般質問 |
| 12月20日 | 委員会付託 |
| 12月21日 | 各部常任委員会 |
| 12月22日 | 各部常任委員長報告<br>決算審査特別委員長報告<br>閉会 |

## 年頭にあたって

議長　今村　宏

副議長　橋田　重雄

橋田副議長

今村議長

市民の皆さんから、常々甲府市議会に暖かいご叱正をいただいておりますことを心からお礼申し上げます。地方自治制度の中で議会の比重は非常に大きく執行機関と議決機関は車の両輪であるとよくたとえられております。どちらか一方の車輪が大きくても、あるいはまた小さくても完全に走ることはできません。甲府市の発展を願い、市民の幸福を祈る責任は、市長も議会も並列対等であります。

甲府市が昨年すでに人口十九万人を越え、わが国における立派な中堅都市として発展してまいりましたが、その前途はけわしく幾多の重要な問題があります。私たちは全住民の代表であるという立場から、常に厳正公平の立場にたって意見を述べ、正しい判断を下すべきであります。

河口市長は福祉優先の市政を、いち早く標ぼうし、対話する姿勢のなかで意欲的な市政推進を続けておりますが、議会もまた、それに呼応して積極的な議会活動を心がけてまいりました。さきに設置いたしました甲府刑務所の移転、給食センター及び甲府駅近代化促進に関する特別委員会もいよいよ軌道に乗り、甲府市全体の飛躍が図られております。

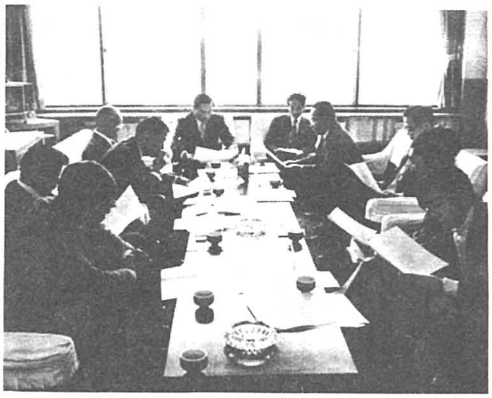
幸い私は関東市議会議長会々長として、地方自治体共通の悩みを解明するための誠意を傾けて努力をいたしております。

市民の皆さんが、さらに議会のあり方を見つめていただき、その言動にあやまりのないよう一層のご指導を心からお願い申し上げます。

丑年の新年にあたり、甲府市の繁栄と市民の皆さんのご多幸をお祈りいたします。

# 市議会に望む市民の声

## 新春座談会



☆☆☆☆☆

―甲府市議会は、議会だよりを発行し、市政の動き、審議の経過等をお知らせして、ガラス張りの中で市政、市議会を理解して戴き、市民参加の市政をめざしております。本日は、新春に当って市民各層の中からご出席願い、市議会に望む市民の声をお聞きし、よりよい議会運営と市政の発展に資して参りたいと思います（あいさつ）

☆☆☆☆☆

**出席者**（敬称略）

根津久次郎（自治会）
大芝　雪子（主婦）
園田　尚利（学生）
上野　幸作（老人）
三枝　長治（勤労者）
依田　猛（農業）
雪江　憲三（商工業）
霜村　竹雄（青年）
今村　宏（議長）
▼司会
中沢彦一（事務局長）

## ガラス張りの市政に期待

### 市民は対話の姿勢を歓迎

―七〇年代は、経済成長から福祉優先への転換が叫ばれ、地方自治においても住民本位の政治が求められていますが、このような流れの中で、市政と市民を結ぶ代表機関である議会についても、市民側から注文があろうかと思いますので、市民各層の代表である各氏のご意見を伺いたい。

#### 施策の基礎調査を

―上野― 市議会だよりが発行されてから市議会の動き、市政がわかり非常に結構なことと思っている。しかし、議会報告だけでは一方通行であるから、今回の市民のナマの声を聞く座談会は、市民と議会を結ぶ住民本意の姿勢が窺われ高く評価したい。

執行は理事者がするが、市議会は、一つの市道編入を決めるにしても、どこがどうなっているか、実情を十分知って決定することが必要であり、社会福祉にしても、かけ声だけでなく、法の研究をはじめ、十分な調査の上に立って内容の充実した施策をして欲しい。

#### 望まれる清い政治

―大芝― 対話市政の姿勢は、市民にとって喜ばしい。議会も同じ姿勢で一党一派に偏することなく、市民全体の意見を聞いて市政に反映して欲しい。市民と密着したガラス張りの市政をお願いすると共に数年前にあった、市職員の汚職というようなことのないよう、清い政治をして議会の権威を高めて貰いたい。

#### 信頼される議員に

―雪江― ある会合で市職員と同席したとき、市の中で誰れが一番恐いか聞いたところ、市議会議員と答えた。市政の監視役である議員がある程度にらみをきかせるのも結構だが、程度を越えて、その権力が市民全体でなく自分の都合のよい事とか、派閥などグループの利益を図るものであっては困る。市民の理想とする議員は、市職員からは、立派な議員として尊敬され、市民からは信頼される議員であり、しかも、市民の願いにすぐ応じてくれる腰の軽さと行動力を望みたい。

#### 市民参加に力尽せ

―霜村― 私は青年議会に出たことがあるが、一般的には若い青年は政治に無関心である。だが反面、市行政について勉強したいとも思っている。議員は、市民を市政に参画させるため市民の勉強に手をかすなど、積極的な役割を果すべきだ。

#### 労働者と話し合え

―三枝― 市長も対話市政に力を入れている。議員にしても働く我々の職場の中に進んで飛び込んで貰いたい。

町の陳情ばかりでなく、中小企業に働く労働者の悩み事についてもどんどん政治に反映して解決して欲しい。

#### 学生との交流も

―園田― 大学と市はふれ合いが少ない。これは、今の言葉で言えば、市政と学生は断絶していると言える。これをなくす意味でも、市議会は学生と交流を密にし、若い学生の考えを市政に反映してもらいたい。

#### 議会を傍聴に

―議長― 議会も市長の対話の姿勢と合わせて、市民の中に飛び込んで話し合うことは良いことと思う。

議員は市民と結びつかないと十分な働きはできない。選挙の時ばかりという批判を受けないよう、なお一層日常の活動と民主的な議会運営に努力します。

また、お願いですが、市民におかれましても、議会の傍聴もして貰い、自分達の選んだ議員は、どういう活動をしているのか市民もチェックして、正しく議員活動を評価して立派な議員を選んで欲しい。

## 福祉、教育施策を重点に

### 農業・商工業対策を図れ

―甲府市では生活優先市政の実現をめざして、たとえば老人対策などの福祉行政は、国の施策を先取りする形で住民福祉の向上に、市長、議会一体となって努力していますが、各種の施策について、それぞれの立場から市政、市議会に望まれる点のご意見を伺いたい。

#### ほしい総合的老人福祉

―上野― 数年前までは、国、自治体とも老人に対しては、無策に等しかった。そこで、甲府市においても私どもは、老人福祉の中で一番必要なこととして、医療費無料化の運動を四十二年度から始め、鷹野、秋山、河口の三代の市長に強く運動を展開して来た。その結果、議会の理解を得て、今回七〇才以上の無料化が実現し、施策の最重点となっていることは誠に喜ばしいことであります。

四十八年度には、六十八才にするというが、もう一歩進めて、六十五才に引き下げを図るとともに、国保加入者と同様、社会保険加入者においても窓口無料化をして欲しい。

また、一月実施が予定されている寝たきり老人の入浴車の巡回、温泉病院のハーバート・タンク使用、ホームヘルパーの増員、針、灸の適用、さらに、六十才以上の無料健康診査、特別老人ホームの建設等内容の充実した老人福祉対策を要望したい。

#### やすい魚や野菜を口に

―大芝― 主婦の立場から次の点についてお願いしたい。

一、台所を預かる主婦として最近の物価の上昇は頭が痛い。幸い甲府市では、中央卸売市場が四月にオープンするというが、安くて良い魚や野菜が市民の口に入るようにして欲しい。

一、〇才児の医療費無料化を国、県に先がけて実施されたことに感謝しているが、さらに、これに加えて母子家庭の医療費無料化をお願いしたい。

一、働きたい若い母親のため、公設の保育所の建設を望む。

一、教育に重点を置く姿勢は喜ばしい。PTA負担の軽減についても更に努力して欲しい。

一、市に頼んで川を清掃したら、ゴミを捨てる者がなくなった。皆で河川美化に努めて春の小川と歌えるようにしたいものです。

#### 福祉推進は市長議会一体で

―議長― 老人福祉問題は、当局、議会一体となって心配している。国、県の施策を先取りして市独自の福祉をする場合、自治体の財政は拘束されるので、県との関係他市町村とのつり合いなど難かしい問題もある。しかし、市長が生活優先市政を唱え、四十八年度には六十八才医療無料化実施を決め、任期中六十五才まで引き下げることを約しているので、議会も同じ歩調で進めていきたい。

今の政治は、市民の考え方を形として政治に反映する事が必要であり、今までのように行政のペースで施策するというものではないので、議会もそのような姿勢で努力する。

#### 助成金増額せよ

―根津― 自治会の立場で市行政にお願いすることを申しますと、自治会で長いこと要望していた防犯灯等の設置及び維持管理費については昨年から電気代二か月分の助成がやっと実現したが、自治会財政も限界に来ているので道路管理者の責任で設置管理を今後はして欲しい。

次に、広報配布についてですが、現在の委託手数料の考えを変えて、自治会運営に実際役立つように、交付金として増額支出して貰いたい。また、自治会が大きくなると、集会所が必要となるので、これが建設助成金の大巾増額をされたい。

#### 農道舗装を図れ

―依田― 農家は、農業の先行きに不安をもっている。調整区域にしても農地を大きくもっており、後継者のある者は農業を続けたいと希望し、規模が小さく、後継者のないものは、市街化区域への編入を望むなど共通の基盤が失われ意見が合わない。

農振法による農地規模の拡大は本市の場合、地価が高くて無理であり、採算も合わない。そこで、都市住民と農家とを結ぶ農住一体の施策が望まれ、農家は都会人に緑と太陽を提供する果樹、野菜、施設園芸など集約的な農業振興策を望む。

次に、農業の基盤整備として、農道舗装については、生活関連道路と同じに地元負担をなくして、促進を図って欲しい。

#### 中小業者の救済を

―雪江― 甲府市は商業都市であり、中小商工業者の占める割合いは大きい。しかし、これに対応する行政のウエイトは低いと思う。

近時は、百貨店、スーパー攻勢の影響で店じまいに追い込まれる中小業者も多い。日本の場合、これらの業種に対して何の救済策もないが、先進国では、これら事業の老令者に対しては、廃業補償して生活を保障している。国にも働きかけて中小商業者に対する何らかの対策を検討してほしい。

また、税手続きなどで無駄な手数をかけるものがあるが、行政の簡素化と合理化に努める必要がある。

#### 安い住宅資金も

―三枝― 勤労者が一番悩んでいるのは、住宅難です。甲府周辺は地価が上昇し、自分の家をもつことが困難になっている。市においても、公営分譲地の供給を行なうとともに、安い利息で長期返済の住宅融資制度を創設して欲しい。

#### 市民の財産は効率的に

―霜村― 市のもっている土地は市民の財産ですから簡単に売ることは止めて欲しい。

市民の意見を十分聞くなかで、将来の財産効率を考え、重要なものは市民に残して貰いたい。

#### 合理的行政を

―園田― 甲府市は、下水道がかなり進んで文化都市づくりに努力しているが、舗装の堀返しなど無駄も目につく。科学的、計画的な行政を進めて欲しい。また、文化面に対する施策が少ないので、それらの面にも目をむけるべきである。

#### 農民を参加させよ

―依田― 新しい農業センターの構想を聞くに、何かレジャーセンター的な色が濃すぎるような気がする。私達の望みでは、農業会館において果樹や野菜の生産者大会を市が取り上げて行ない、一般市民に即売出来るような形にして欲しい。農業センターが真に農民の研修、実習の場であり、その運営についても一般農民を参画させてより良いものにすべきと思う。

#### 市民も行政に協力を

―霜村― 市民に関心の深いゴミ処理についてですが、各地で積み残しが問題になっている。しかし出す方の市民側にも問題があると思う。私どもは、自治会にも呼びかけて、ゴミの中にビンのカケラ等入れないようチェックし指導している。清掃問題は、市民と行政が一体とならなければ美しい町づくりはできない。

青年は、政治に文句を言うだけでなく、地域に対しても行政に対しても行動し、実行していくことに心がけたい。

―ではこの辺で……ご意見ありがとうございました。今後の議会活動に役立たせて戴きます。

# 12月定例会　補正予算など23件可決

## 一般会計6億4,459万3千円追加

## 山宮農場四億千余万円で処分

### 一般質問　新年度の基本方針質す

十二月定例会は、十四日から二十二日までの会期で開かれ、前議会から継続の昭和四十六年度決算を認定したほか、市長提出の職員給与改定を盛り込んだ補正予算、山宮農場処分議案など二十三件を原案どおり可決し、報告二件を受けました。

十二月定例会での一般質問は十二月十八日から二十日まで三日間にわたって行なわれ、清水清富（清心会）、山本清（清風会）、土屋亘（新政会）、長瀬正左衛門（市民クラグ）、山本光雄（同）、樋口精一（社会党）、小林康作（公明党）、武川和好（共産党）の八氏がそれぞれ新年度予算の編成方針、福祉、教育、生活環境整備等について質問を展開しました。

主なる質問の内容は次のとおり

### ◇新年度予算　編成の基本方針

**問**　昭和四十八年度予算編成方針と予算規模、財政の見通しを聞きたい。

**答**　昭和四十八年度の基本施策も、人間尊重、生活優先という所信表明での基本方針には変わりはない。新年度もこの考え方に立って四十七年度に引き続き、

一、福祉推進として、老人福祉、心身障害児、母子福祉対策の充実、市立病院の増設等

一、教育施設の整備充実として、学校施設、教材教具整備、PTA負担の軽減

一、生活環境の整備として、下水道、公営住宅建設、生活関連道路、緑化促進、河川美化等の三本の柱で四十八年度も努力する。

財政については、税収の伸びもあまり期待できず給与費、福祉費、公債費等の経費増など多額な需要が見込まれるので、一層の創意工夫に努め、財政運営に対処する。予算の伸びは、昨年と同じ位いを見込んでいる。

### ◇公約の重点施策　実施日程はどうか

**問**　昭和四十八年度の財政事情は厳しいものがあると思うが、公約等で重点施策としている刑務所移転、甲商移築、福祉センター等多額の投資を要する建設事業の具体的な実施策を聞きたい。

**答**　都市化に伴い市民需要が増加しているが、反面これに見合う財源が見込めず、苦しい財政運営となっている。健全性確保に留意しながら、起債の拡大をはかる等積極的に市民福祉の向上に努力する。また、超過負担等国の制度の欠陥については、市長会等を通じて制度の改善を強く要請していきたい。

重点施策の具体的日程は、

一、甲商移転は、用地取得を早急にし、四十八年度造成、四十九年、五十年で建設する。

一、刑務所移転は、国に四十九年度に調査費を盛って貰うため、本年度中に用地取得ができるよう地元と折衝し、五十一年には移転完了したい。

一、動物園は、四十八年度中に用地取得し、四十九、五十年で建設する。

一、総合福祉センターは、用地手当済みであるので四十九、五十年で建設を完了したい。

一、駅ビルは、四十八年基本計画、四十九年建設計画、五十年で完成したい。

一、駅前整備は、四十九年整備計画、五十年から五十二年頃完成したい。

以上であるが、これらについては国、県の力が必須条件であり、よく連絡をとりながら実現をはかっていきたい。

## 市有地処分は慎重に　新農場建設し高度利用

**問**　近時の公共用地の需要と取得の困難性からも、市有地の処分は原則として押えるべきである。処分についての考え方を聞きたい。

**答**　公共用地の取得は、地価の上昇等でむずかしくなっているが開発公社等を活用して先行取得に努力している。

市有地の処分をむやみにしているということはない。農業センターは、売却することにより高度利用して別個に良いものをつくり、高く売れた残りの金は将来に処して積立てておく。また、堂ノ山にしても前市長以来の懸案のものであり、甲商建設をするには他に財源が見い出せないということなので、理解してほしい。

甲商第二グラウンド地域の要望については、よく話し合い十分検討する。

### ◇公園緑地対策　確保し整備せよ

**問**　公園、緑地の確保整備は市民共通の願いであり、積極的な推進を望む。

本市の計画している小瀬スポーツ公園の進み具合いはどうか。

**答**　新年度では生活環境整備の一環として、公園の拡充、緑化対策に努力したい。

小瀬スポーツ公園は、来年度一部使用できるようにし、また河川に公園を拡大していきたい。

### ◇PTA負担　軽減の具体策示せ

**問**　本市は類似都市に比して教育予算が少ない。特にPTA負担の軽減については、関係者による研究会をつくって調査しているが、必ずしも活動が活発ではない。負担軽減の具体策を示してほしい。

**答**　教育費の歳出中に占める割合は、類似都市では一六％、本市は一三％で確かに少ないが、四十七年度は教育施設費を倍にして、一四・八％と伸ばしている。さらにPTA負担軽減策として三、六〇〇万円を教材費等に計上した。四十八年度も引き続き教育施設充実、父兄負担軽減に努力する考えである。

### ◇教員の健康管理　高い疾病率

**問**　全国的に教職員の健康がそこなわれており、その疾病率は一般公務員の四倍の数となっている。特に精神、神経系統が多い実情である。このような状況下で、本市の教員の健康管理の実態はどうなっているか。また、休業日を広げるなどの措置はとれないか。

**答**　教職員の健康管理は、法で義務づけられており、校医が実施している。休業日の拡大は簡単にできないが、補充教員の増員をはかって、教師に無理な勤務にならないよう努力したい。この点新年度でも三名ふやしてもらうよう、予算要求している。

### ◇庁内組織改革の方針　理念かえず第三次改革

**問**　四十八年四月に予定されている庁内改革は、市民参加も求めて目下組織研究会で検討しているが、市長の組織改革に対する基本理念と、現行組織との関連について方針を聞きたい。

**答**　基本理念をふまえた改革をめざしているが、今の機構が全面的に悪いということではない。組織のなかで、市民サービス、行政の民主化、市民と市政の密着性、管理機能の強化とりわけ人間性の確立ができるような組織にしたい。すなわち、現行の組織理念をふまえて第三次組織改革を実施していく。

### ◇老人医療無料化　六十八歳に引下げ

**問**　老人医療費無料化を前進させ、四十八年度当初予算で年令を六十八歳に引き下げる考えはあるか。

**答**　老人医療費については、四十八年度予算でも重点とし、県とも連携をとる中で、六十八歳に引き下げるよう作業を進めている。

### ◇入浴車の巡回　運行はいつか

**問**　寝たきり老人の入浴車の巡回実施を広報紙でPRしたが、実施が大巾に遅れ無責任との批判がでている。福祉行政はきめ細かくしかも迅速に行なうべきだ。

**答**　入浴車については、納入業者の都合で延びて申し訳なく思っている。老人団体には了解をとったが、一月中には必ず運転できるようにしたい。今後ともきめ細かな福祉行政に努める。

（一月十八日運転開始された）

## 請願

### 採択されたもの

（建設経済部委員会）

○農業センター設置（増坪町自治会会長・萩原久雄）

○道路舗装（里吉町自治会会長・小野能徳ほか）

○市道編入整備（地区代表宮原町桜林恭太郎）

### 継続審査するもの

（総務委員会）

○市立甲府商業高校舎跡地の処分（青沼商工発展会会長・小林芳方ほか）

○市立甲府商業高等学校移転跡地利用（東地区自治会連合会会長・中村六雄ほか）

（建設経済委員会）

○廃河川敷払い下げ（富士見一丁目・横山勘吉ほか）

（民生委員会）

○肥満・虚弱児健康管理対策（甲府健康教室保護者会代表者・立川敬子）

## 陳情

### 不採択されたもの

（建設経済部委員会）

○農業センター設置（国玉町自治会会長・菊島醇ほか）

## 執行率九八・二％

### 46年度決算四議案認定

九月定例会から閉会中継続審査になっていた昭和四十六年度決算四議案は、十二月定例会で委員長報告どおり満場一致認定されました。

委員長報告の概要は次のとおりです。

四十六年度決算は市政の施策目標を「市民の健康と安全を守り豊かなくらしを築く」生活優先の市政に重点をおき、市政が執行されました。決算額は一般会計、特別会計（企業会計を除く）合せて、

**歳入　百億四千七百一万二千四十七円**

**歳出　百億五千七百六十五万二千九百九十三円**

で、歳出の執行率は九八・二％になっております。審査の結果明らかにされた特徴等は次のとおりです。

一、四十六年度は税の伸び率が著しく低下したが、反面住民要望は増加の傾向にある。したがって今後の施策としては、市民の所得、資産の増加につながる施策をし、市税の伸びをはかり財源の確保に努める。

二、超過負担は二億四千五百万となっているが、今後も高福祉施策を推進すると、なお増加する。これの解消のためには、国に対し強力な働きかけが必要である。

委員会の各款にわたる要望は次のとおりです。

一、通過観光客に対する足どめ策を早急に樹立すること。

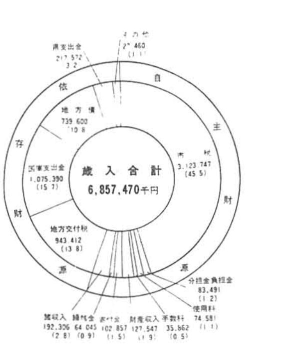
二、救急業務については医師の配置等を行ない万全を期すること。

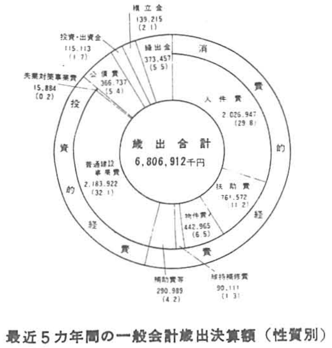
三、下水道の受益者負担金の不能欠損については応益的なものであるから完全徴収をすること。

四、病院の医師の報酬制度の改善、老人無料検診のPR、看護婦の充足等をはかり魅力ある病院にすること。

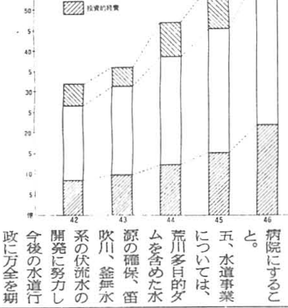
五、水道事業については、荒川多目的ダムを含めた水源の確保、笛吹川、釜無水系の伏流水の開発に努力し今後の水道行政に万全を期すること。

昭和46年度一般会計性質別決算額




最近5カ年間の一般会計歳出決算額（性質別）の推移（昭和42年～46年度）




## 鷹野元市長逝く

### 12月議会で追悼演説

元市長鷹野啓次郎氏は、十月二十七日に逝去され、十一月四日湯田小体育館においてしめやかなうちにも盛大に準市葬が執り行なわれました。

鷹野元市長は、昭和二十八年当選以来昭和四十三年までの十六年間の長きにわたりひたすら甲府市の発展と繁栄のために全精力を捧げられたのであります。市では、その功績に対し感謝を表明するため急施の臨時市議会を十一月一日に開き、準市葬のための補正予算を議決しました。また十二月市議会定例会の本会議冒頭において、故鷹野元市長のご冥福を祈り黙祷を捧げるとともに、その偉大な生前の功績をかえりみて飯島武議員が議会を代表し追悼の演説を行ないました。

## 編集後記

◇明けましておめでとうございます。議会だより十六号を新年号としてお届けします。

◇今回は、議会だよりを市民に親しめるものとするため、市民の声を聞く市民座談会を行ないました。市民代表の選出方法は、一般的市民を対象として、議会内の各会派から選出されている七名の編集委員に一名ずつ選んで貰いましたのでご了承下さい。

◇座談会では議会のあり方、議員活動、市政に対する注文など率直な意見が活発に出されましたが、いずれも本質を鋭くとらえたものばかりでした。これらの貴重なご意見をよき手本として、これからの議会運営及び市政の発展に資して参りたいと思います。

◇さらに今回の座談会について、出席者から好評を得ましたので、今後とも住民本意の姿勢をもってこのような対話の輪を広げて参ります。

◇本年も市民の皆様の暖かいご支援をお願いし、皆様のご健康をお祈りいたします。